

イノベーション創出
に資する施設整備

学生の修学支援
に資する施設整備

グローバル化に
対応した施設整備

その他

複合分野の集積と交流から生まれるイノベーション創出の拠点

基本情報

学校名：鈴鹿工業高等専門学校
建物名：イノベーション交流プラザ
工期：平成25年9月～平成26年3月
構造・階数：RC・地上3階
延床面積：1,350㎡
事業費（設計費含む）：209,914千円



建物外観（耐震補強）



外来者用玄関

整備の方向性

○複合機能施設として

- ・高等教育機関は、単に学生の専門教育のみならず、産学官連携による研究開発や地域貢献、グローバル化に対応した国際教育の充実、男女共同参画の推進など、さまざまな体制の整備と実質的な行動が求められている。
- ・イノベーション交流プラザはこれらの推進拠点、ならびに学生の学習および課外活動支援や卒業生との連携活動拠点としての複合機能施設とすべく、これまで閉寮中となっていた学生寄宿舎を改修整備したものである。

○新たなイノベーションの創出の場として

- ・各部門が機能することによって、さまざまな目的を持った学生、教職員、地域企業の経営者や技術者、小中学生を含めた地域住民、あるいは本校の卒業生たちがここを訪れる。その結果として生まれる人の繋がりや組織のかかわりが、協働効果を生み出して、新たなネットワークの形成や、新規な教育・研究プロジェクトの創出の拠点となることを目指す。

計画・設計上のポイント

○産学官連携ならびに地域貢献と同窓会との連携強化を目的として

- ・「地域交流推進室（2部屋のセミナー室を付属）」、地域の小中学生の理科教育や体験型サイエンス教室として活用する「サイエンス教育教育支援室」、「50周年記念ギャラリー」の配置

○教育の高度化および創造教育の充実を目的として

- ・新たな教育プログラムの創出を目指す「教育プロジェクト企画推進室」、学生による創造活動プロジェクトを支援するための「創造活動デザイン室」の配置

○男女共同参画の推進を目的として

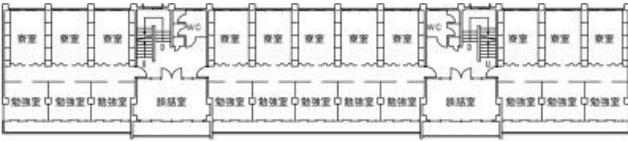
- ・女子学生及び女性教職員のキャリアアップ支援コミュニケーションの場として、「男女共同参画室（2階セミナー室及び相談室を中心に活動）」の配置

○学生の自主的学習、課外活動支援および留学生交流を目的として

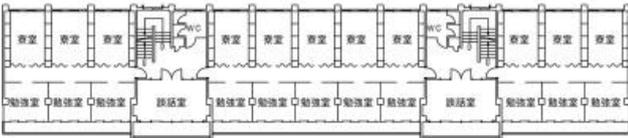
- ・学生の自学自習に利用できるほか、課外活動における合宿、留学生と日本人学生のコミュニケーションを図る場として「多目的学習室（4室）」の配置

Before

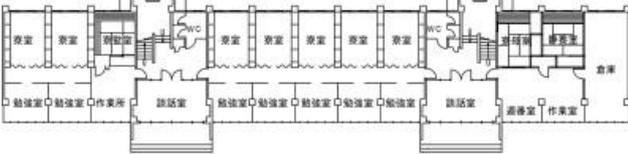
3F



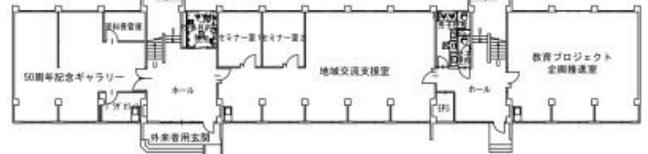
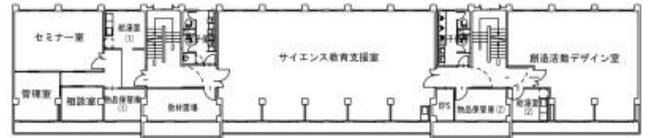
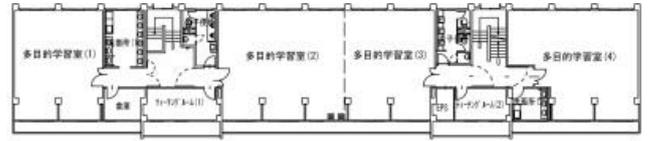
2F



1F



After



改修前寮室
(勉強室・寮室)



地域交流推進室



創造活動デザイン室



教育プロジェクト企画推進室



多目的学習室



50周年記念ギャラリー



創造活動プロジェクト
～プロコンによるアイデア創出のための勉強会～
(創造活動デザイン室)



実践的技術者育成のための企業技術者によるセミナー
(地域交流推進室)

施設整備の効果

○創造性豊かな実践的技術者育成の場

- ・地域の産学官交流会と連携した各種セミナーや合同フォーラムの開催のほか、企業との技術相談や近接する公共団体、大学等との情報共有の場として有効に活用されるようになり、地域産業の発展に貢献している。

また、これらに学生が参加することにより、より実践的な技術者育成教育の機会を提供できるようになった。

○創造活動プロジェクトへの効果的支援

- ・全国高専「ロボコン」、プログラミング技術を競う通称「プロコン」、情報処理技術における優れたアイデアと表現力・プログラミング能力等を競い合う通称「パソコン甲子園」及び「パテントコンテスト」における、アイデアの創出や試行に取り組める場（1回/週のペースで活動をできる場）を提供したことにより、それらコンテストでの大幅な成績向上を図ることができた。

2014ロボコン全国大会「アイデア賞」受賞

全国高専プログラミングコンテスト 課題部門「特別賞」 自由部門「特別賞」 受賞

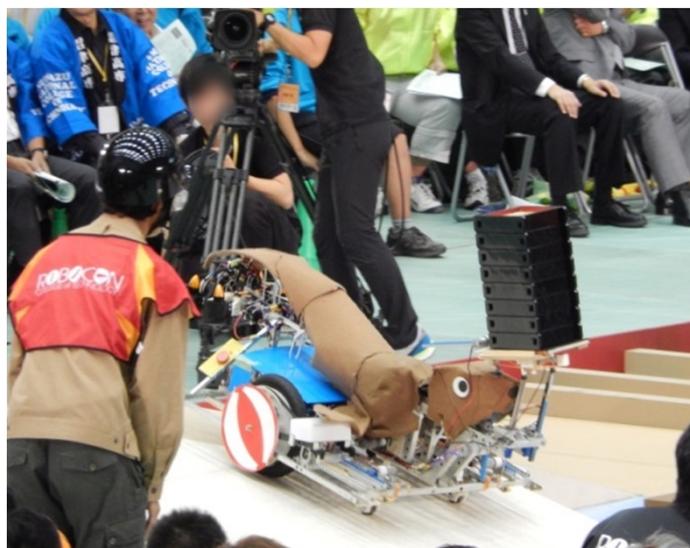
全国パテントコンテスト入賞

第13回全国高等学校パソコンコンクール「パソコン甲子園2015」 モバイル部門 グランプリ受賞

第13回全国高等学校パソコンコンクール「パソコン甲子園2015」 いちまいの絵CG部門 佳作受賞

○自学自習の場の充実と課外活動の支援の充実

- ・多目的学習室を新たに設けることで、図書館等の混雑が大幅に緩和され、自学自習の効率があがった。また、教員が複数の学生を集めて教科指導を行うことができるようになり、学生の学習支援環境の充実においても大きな効果がある。現在では主に寮生を中心として10名程度/日が利用している。
- ・長期休業期間中のクラブ合宿では、これまで教室に畳を持ち込み実施していたが、多目的学習室（和室2室）を利用できるようになり、課外活動等への支援の充実を図ることができた。



2014ロボコン全国大会

